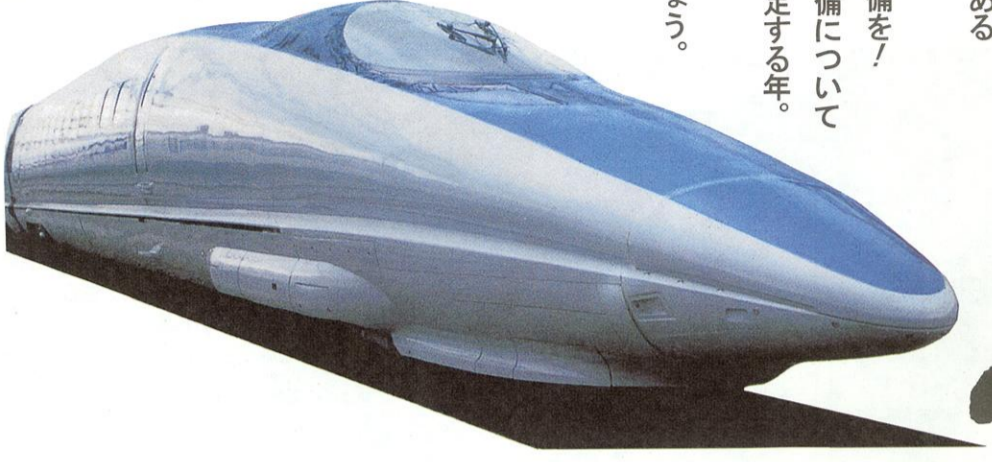


# 特集1 さあ実現！九州新幹線

もっと楽しく、もっと活気のある九州・熊本にするために、一日も早く九州新幹線の整備を！今年、国が今後の新幹線整備について基本的な整備の枠組みを決定する年。県民みんなの力をあわせ、九州新幹線を実現させよう。



九州新幹線建設促進総決起大会



今年五月に熊本市で開催された「九州新幹線建設促進総決起大会」には、一万一千人の参加者があり、地元九州新幹線への期待の大きさを全国に示しました。

本年は、国において今後の新幹線整備についての基本的な整備の枠組みが決定される年です。つまり、もし今年、私たちが熱望する九州新幹線鹿児島ルートフル規格整備が決定されない場合、今後いつ熊本にやってくるのか分からなくなってしまうかもしれません。まさにこの平成八年は、九州新幹線実現に向けた正念場の年といえます。そのため、熊本県では次のよう

## 4つの目標

- ①フル規格による博多〜八代間の早期着工
- ②博多〜八代間を含む鹿児島ルート全線のフル規格による整備及び八代〜西鹿見島間への事業費の大幅増による同区間の計画期間内の完成と早期開業
- ③新玉名駅の設定

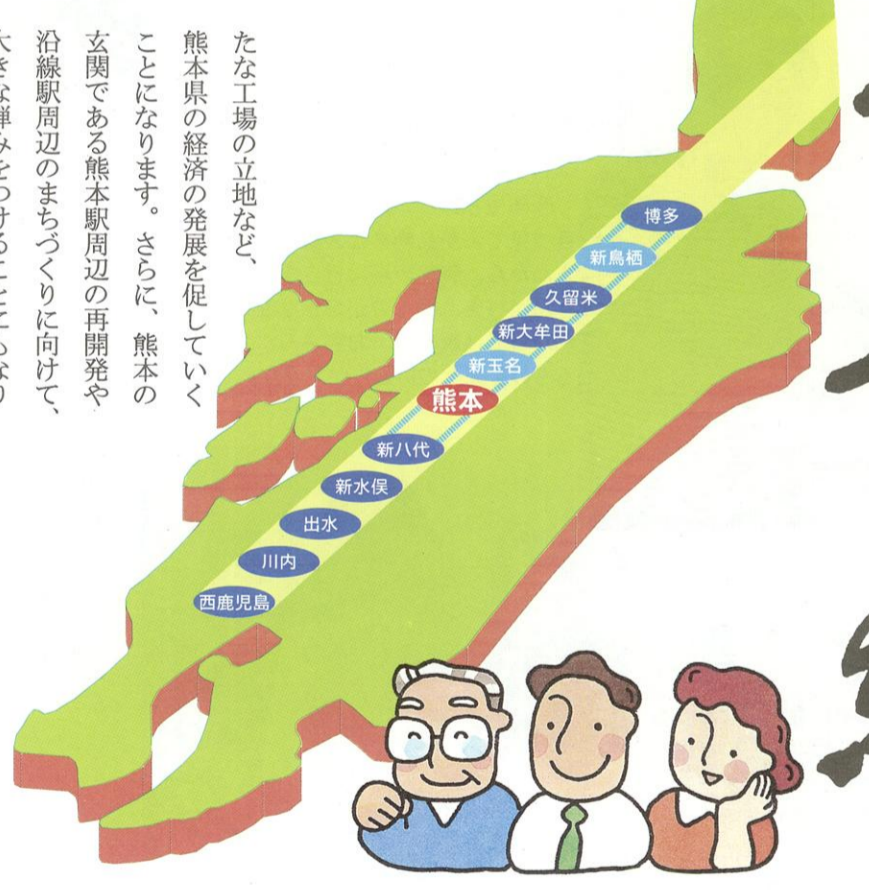
な四つの目標を掲げ、県民・政財界・行政が一体となった運動を展開しています。

現在	博多	熊本	新大阪
西鹿見島	2時間27分	1時間17分	2時間31分
新大阪	40分	24分	2時間15分
西鹿見島			

※新幹線が350km/hで走行したと仮定した時間です。

## 新幹線は夢を運んでくれます

九州新幹線の実現は、私たちの暮らしをより豊かに、より便利にします。移動時間は大幅に短縮され、それによって、行動半径は広がり、ビジネスもレジャーも、今よりもずっと自由で積極的な行動ができるようになるでしょう。例えば、京阪神地域への日帰りビジネスや、仕事を終えて他県に遊びに行ったりするのもラクです。また、このような広域高速交通網が整備されることは、観光客の増大や商業の活性化、そして、新



たな工場の立地など、熊本県の経済の発展を促していくこととなります。さらに、熊本の玄関である熊本駅周辺の再開発や沿線駅周辺のまちづくりに向けて、大きな弾みをつけることにもなります。このような新幹線効果は沿線地域に限定されるのではなく、県土全体に影響を与え、熊本県をさらなる発展へと導く大きな起爆剤になると期待できます。

さあ、九州新幹線が実現したら、皆さんならどんなふうに活用したいと思いませんか。きっと、皆さん一人ひとりにとっての楽しい活用方法が見つかるに違いありません。

## 私たちの熱意を結集して

熊本県では、大きな夢をのせた

九州新幹線実現へ向けて、先に紹介した建設促進運動の推進と同時に、都市再開発計画などさまざまな構想や計画を推進しています。しかし、その実現には県民の皆さんの協力が不可欠です。この秋には、私たちの熱意を再度示す意味で、東京で九州新幹線建設総決起大会を開催するほか、県内でのウォークラリーイベントなどの実施も予定しています。私たちの夢を運ぶ九州新幹線。その実現に向けて、私たちの熱意を結集させましょう。

## 知事室から



熊本県知事 福島 謙二

今回号の表紙では、県内各地域から七名の県民の方々に「夢」を語っていただきました。県政運営の基本指針である総合計画「ゆたかさ多彩『生活創造』くまもと」の目指すところも、結局は、県民の皆様方の夢の実現を支援することにあると言えることができます。私もまた、ご披露いただいた「夢」を拝見させていただきながら、皆様方と力をあわせて、躍動感にあふれ優しさに満ちた、誇れるふるさとをつくっていかねばならないと思いを新たにしたいところです。

さて、県政の当面の重要課題である九州新幹線については、年内に国から今後の新幹線整備に関する基本的な考え方が示される予定です。九州新幹線の実現は、力強い県勢発展を遂げる「躍動するくまもと」の実現を図るうえで大きな力となるものです。博多〜八代間の着工が認められるよう、県として最大限の努力を払っていきたくと考えております。県民の皆様のお力添えをお願いいたします。また、八月二十日から熊本市、八代市内を会場に「くまもとハートウィークス」を開催します。障害のある方々の社会参加を容易にするためには、施設などの改良を進めることも重要ですが、やはり、私たちの心の壁をなくすことももっとも大切なことだと思います。そのためには、私たち一人ひとりが障害のある方々の気持ちを理解することが必要です。会場では、障害のある方々がご自身の内面を率直に表現した作品や、福祉先進国スウェーデンの取組みの一端に触れていただけのことでしょう。この催しが、人間尊重に裏打ちされた「優しくくまもと」の実現への一つの大きなきっかけになればと願っています。暑い日がしばらく続きます。どうぞお体を大切になさってください。

# 特集2 「やさしいまちづくり」ブロックは存じですか？

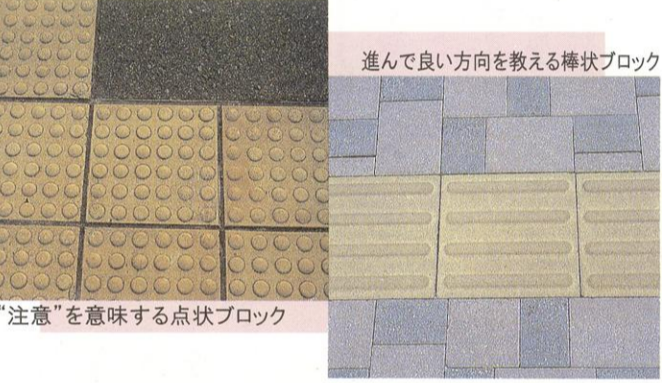
みんながいそいそと暮らせる明日のための「やさしいまちづくり」一人ひとりのやさしい気持ちが出発点です。

歩道のブロックの中にある黄色や茶色のブロック。普段は気にもしないけど、確かに見たことはある。そんな皆さんも多いでしょう。では、あのブロックにはいったいどんな意味があるのか、ご存じですか。

実はこのブロックは、視覚に障害のある方でもひとりで街を歩き、目的地まで行けるように設置された足もとのサイン。いわば、足で読みとる道しるべです。

この誘導ブロックには、その形によって役割の異なるものがあります。例えば、中央の写真二点のうち、棒の形をした線が描かれているものは進んでもよい方向を示しており、丸いデコボコがあるものは横断歩道の手前など注意を促す場所に設置されています。皆さんも歩道を歩く時、ぜひ一度ご覧になってください。

さて、現在、熊本県と各市町村では、「やさしいまちづくり」を推進しています。誘導ブロックもこの「やさしいまちづくり」への取り組みの一つです。



進んで良い方向を教える棒状ブロック、注意を意味する点状ブロック

では、「やさしいまちづくり」とはどんな内容なのか、簡単に紹介してみよう。

■やさしいまちづくりの背景と目的  
二十一世紀初めには熊本県は四人に一人が六十五歳以上という本格的な高齢社会がやってくる予測されています。年をとるにつれてからだの機能が衰え、自らの行動に何らかの制約が加わることは避けられないことです。しかし、多くの人が利用する道路や建物、公共交通機関、また雇用や教育の場においては、お年寄りや障害のある方が利用する上で不便なことや不都合なことがまだまだ多くあります。

そこで熊本県では、県民誰もが住み慣れた家庭や地域社会で、みんなと共に安心していきいきと暮らせる社会の実現（やさしいまちづくり）を目指して、平成七年三月、「熊本県高齢者及び障害者の自立と社会的活動への参加の促進に関する条例（通称やさしいまちづくり条例）」を制定し、さまざま

## 取り組みの概要

だれもが、いきいきと暮らせる社会を実現するためには、まず県民一人ひとりが「やさしいまちづくり」を理解する必要があります。そこで、「やさしいまちづくり」に関する啓発活動や、お年寄りや障害のある人への正しい理解と思いやりをはぐむための学習の推進などに取り組んでいます。



お年寄りや障害のある人が暮らす環境を表現するイラスト



玉名市 田上 統さん  
私は視力が弱いので、誘導ブロックは本当に助かります。初めて一人で街に出て歩いた時、とてもうれしかったことを覚えています。

このように、「やさしいまちづくり」の取り組みは人々の意識づくりから制度的な見直し、建築物などの整備と幅広い内容になっていきます。県民の皆さんにも、ぜひご理解と協力をいただきたいと考えています。

ここでの写真をご覧ください。



誘導ブロックをふさぐ自転車は、とても危険。

最初で紹介した「誘導ブロック」です。しかし、自転車が邪魔をして通れなくなっています。ほんの何気ない行動が、お年寄りや障害のある人にとって大きな壁になることがあります。まず私たちにできること、身の周りを、もう一度見渡す中からいろいろなことが発見できるのではないのでしょうか。本場の「やさしいまちづくり」とは、そんな一人ひとりのやさしい気持ちから始まるのだと思

います。

■玉名市 田上 統さん  
私は視力が弱いので、誘導ブロックは本当に助かります。初めて一人で街に出て歩いた時、とてもうれしかったことを覚えています。

また、レストランに入っても、目が不自由だといつも同じメニューになっ